

平成27年度 第1回文化財審議会会議

会 議 録

- 日 時 平成27年12月2日(水)9:00～11:00
- 場 所 八日市場公民館 小会議室
- 出席委員 加瀬靖之会長、小川知至副会長、木内新委員、
八木幸市委員、西山太郎委員、依知川雅一委員(6名)
- 欠席委員 井上俊仁委員、尾高宗一委員、渡辺重雄委員、
平野雅一委員(4名)
- 事務局 池田教育長、水口生涯学習課長、林生涯学習室長、
生涯学習班 戸村主査、伊橋主査、田中主査補
1. 開 会 林室長が進行
2. 会長あいさつ 加瀬会長
3. 教育長あいさつ 池田教育長
4. 議 題 加瀬会長が議長として進行

(1)平成27年度文化財関係事業について

事務局から平成27年度文化財関係事業を説明後、協議した。

(2)その他

「西光寺駕籠」について

【審議結果】 まず事務局から千葉県文化財課へ連絡を取り、簡易調査等を行うよう依頼し、調査結果を事務局から所有者へ連絡すること。

「脱走塚」案内板について

【審議結果】 文面を別紙のとおりとして、案内板を交換してよい。

5. 現地視察「ハリストス須賀正教会聖画保存修理事業」について

現地視察を行い、現況を確認した。

【審議結果】引き続き修理計画を進める。

6. 閉 会

協議内容

議題(1) 平成27年度文化財関係事業について

委員： 多古田遺跡埋蔵文化財調査の出土品を市民に知ってもらう機会として展示してはどうか。また、以前に出土した文化財を系統的な形で展示すれば、子どもたちがその場で学習することが可能になるのではないか。

委員： のさか図書館2階に一部展示があり、子ども達が図書館利用と併せて見学しているようだ。

委員： 市内で空き室になっている施設があるようなので、検討してみてはどうか。

委員： 保存だけではなく、活用も必要である。

事務局： 多古田低地遺跡については現在調査中であり、出土遺物が多量であるので、今後整理作業が終了した時点で、展示場所を含め検討を行いたい。

議長： その他、何かありますか。

事務局： 昨年度審議いただいた飯高神社本殿修復と、この後見学予定のハリストス須賀正教会聖画修復は、平成28年度県費補助事業計画を提出したことを御報告します。

教育長： 八日市場盆踊り保存会が千葉県教育功労者表彰を受けたことを、御報告します。

議題（２）その他

・「西光寺駕籠」について

委員： 江戸時代、住職が使用したものと考えられ、県内では文化財指定例は無い。

委員： 修復する場合も、現状維持に留めた方がよいのではないか。

委員： 現状維持としても、だいぶ傷んでいるようであった。

委員： 昌山妙福寺にも女駕籠と男駕籠が本堂に吊るされて保存されており、言い伝えでは、水戸光圀と養珠院お万の方が使用したと伝わっている。何十年前か見たときに、この駕籠も、既にだいぶ傷んでいるようであった。

委員： まず千葉県文化財課へ簡易調査を依頼し、結果を事務局から所有者へ伝えてはどうか。

委員： その際には、妙福寺の駕籠も一緒に調査するとよい。

他の委員からも同意有り。

・「脱走塚」案内板について

事務局： 案内板の老朽化による取替に伴い、委員の協力を得て文面を見直した。

委員： 再来年は150周年なので、良い機会になるのではないか。

委員： 「戦闘」は「戦い」としてはどうか。

委員： 以前の文面は、現代の表現にそぐわない点もあるので、この案のとおりでよい。

他の委員からも同意有り。

・アライグマ被害について

委員： 飯高地区でアライグマの足跡が見ついている。文化財が多くある地域であり、増えてからでは遅いので、早急な対策が必要。環境生活課にも連絡を入れたが、事務局でも確認してほしい。

委員： 広域農道・借当川水門辺りでも足跡があった。無人の家屋や寺社へ入り被害が広がるので、多く仕掛けを置き、今のうちに捕獲した方がよい。

委員： 2～3年前に妙福寺のお堂を壊した際、痕跡があったとも聞いている。

事務局： 環境班へ至急確認を取り、文化財所有者へ周知を行う。

・その他

委員： 総合的な文化財・文化遺産として、軍艦島や八幡製鉄所などが注目されている。系統的でまとまった文化財保護への視点が必要である。

詳細は別添会議資料による